2019 年度　　授業概要

科目名	老年期障害治療学							授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		2年	後期

【授業の目的・ねらい】
高齢者の取り巻く環境や高齢者自身の捉え方、高齢者への作業療法アプローチを理解する。

【実務者経験】
作業療法士として西広島リハビリテーション病院、介護老人保健施設ベルローゼ等に勤務、老年期のリハビリテーションに従事。

【授業全体の内容の概要】
高齢者へのアプローチ手法を学ぶ。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
高齢者へのアプローチ手法を理解できる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	老年期作業療法の特徴	
2	作業療法による介入	
3	作業療法による介入	
4	作業療法による介入	
5	MTDLP	
6	MTDLP	
7	MTDLP	
8	MTDLP	

【使用教科書・教材・参考書】
標準シリーズ老年学、作業療法学ゴールドマスターテキスト老年期作業療法学、認知症の作業療法、MTDLP資料

【準備学習・時間外学習】
認知症とMTDLPは十分理解しておく必要がある。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点として成績を評価する。
課題の評価50点、定期試験50点として合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。